

外山 幹夫 著

中世長崎、特に肥前国西南部の松浦郡・高来郡・彼杵郡に着目し、松浦氏・有馬氏などの在地武士団の成立・発展、領国支配の実態や南蛮貿易の推移について論じ、その独自性を明かす。長崎大学名誉教授、長崎市史編さん委員会委員長を務める著者が長年の研究成果をまとめた一書。

中世長崎の 基礎的研究

▶A5判・410頁／定価 7,875円(税5%込) ISBN978-4-7842-1589-8

2011年10月刊行予定

〇〇内容目次〇〇

前 言

第一部 肥前国松浦郡

第一章 松浦氏の出自とその党的性格

- 第一節 出自と発展
- 第二節 松浦党の性格
- 第三節 党の性格と鎌倉幕府

第二章 松浦党の一揆契諾状と押書・契約状

- 第一節 党の拡大と上・下松浦党
- 第二節 一揆契諾状の作成
- 第三節 大一揆と小一揆
- 第四節 相違する加盟者数と花押数
- 第五節 一揆契諾状の成立と解消
- 第六節 押書・契約状

第三章 松浦氏の領国支配

- 第一節 戦国大名への過程
- 第二節 戦国大名としての松浦氏
- 第三節 松浦氏の戦国家法
- 第四節 領国支配体制
- 第五節 家臣団の編成と軍備
- 第六節 城下町平戸
- 第七節 貿易と布教
- 第八節 新局面の展開

第二部 肥前国高来郡

第一章 肥前国高来東郷・高来西郷と高来一揆

- 第一節 肥前国高来東郷・高来西郷の成立
- 第二節 高来一揆の性格

第二章 有馬氏の領国支配

- 第一節 有馬氏発展の契機
- 第二節 五段階の推移
- 第三節 領国の支配
- 第四節 有力家臣の存在
- 第五節 有馬氏の居城
- 第六節 領国支配の特質

第三部 肥前国彼杵郡

第一章 平安末・鎌倉期の長崎

- 第一節 荘園公領制の成立とその推移
- 第二節 武士の登場とその活動
- 第三節 深堀氏の移住と惣地頭天野氏
- 第四節 元寇と福田氏の活動

第二章 南北朝・室町期の長崎

- 第一節 動乱の勃発と福田氏の活動
- 第二節 深堀・矢上両氏の活動
- 第三節 非法の横行
- 第四節 彼杵一揆と長崎

第三章 戦国期の長崎

- 第一節 長崎氏と長崎港
- 第二節 六丁町の成立
- 第三節 長崎をめぐる諸権力

後 記

- 初出一覧
- 著者年譜／業績一覧
- 索引

とやま・みきお…1932年長崎市生まれ。1955年広島大学文学部史学科国史学専攻卒業。1961年広島大学大学院博士課程国史学専攻修了。1972年長崎大学教育学部助教授。1978年長崎大学教育学部教授・文学博士。現在長崎大学名誉教授。中国華僑大学客員教授。長崎市史編さん委員会委員長。主著書『長崎県の教育史』『大名領国形成過程の研究』『医療福祉の祖 長与専斎』ほか多数。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

| | | | | | |
|-------|--|-----------------|--------|----------------------|-----------------------|
| 注 文 票 | | 発 行 : 思 文 閣 出 版 | | (京 都 取 引 コ ー ド 3402) | |
| 冊 数 | 冊 | 中世長崎の基礎的研究 | | 本体7,500円(税別) | ISBN978-4-7842-1589-8 |
| お名前 | | | tel | | |
| | | | e-mail | | |
| ご住所 | 〒 | | | | |
| 送本方法 | <input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい) | | | | 書店番線印 |

東寺百合文書 【第9巻・10月刊行予定】

京都府立総合資料館編

東寺百合文書とは、東寺に襲蔵されてきた、奈良時代から江戸時代初期まで約900年にわたる、総数18,000点・27,000通におよぶ日本最大の古文書群である（平成9年国宝に指定）。本史料集には「ひらかな之部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ之部」を翻刻。

▶A5判・平均450頁／定価（各）9,975円

| | |
|--------------------|-----------------------|
| 第1巻（イ函・口函一） | ISBN4-7842-1182-9 |
| 第2巻（口函二） | ISBN4-7842-1224-8 |
| 第3巻（口函三） | ISBN4-7842-1266-3 |
| 第4巻（口函四・ハ函一） | ISBN4-7842-1319-8 |
| 第5巻（ハ函二） | ISBN978-4-7842-1364-1 |
| 第6巻（ハ函三・ニ函一） | ISBN978-4-7842-1435-8 |
| 第7巻（ニ函二） | ISBN978-4-7842-1480-8 |
| 第8巻（ニ函三・ホ函・ヘ函・ト函一） | ISBN978-4-7842-1532-4 |
| 第9巻（ト函二・チ函一） | ISBN978-4-7842-1585-0 |

戦国期権力佐竹氏の研究

佐々木倫朗著

室町期から戦国期にかけ、常陸国佐竹氏がどのような過程をへて権力形成を行ったのかという基礎的な課題をはじめ、一族衆や国衆等の活動、佐竹氏と地域社会との関わりやその地域編成について、佐竹氏が発給した「知行充行状」・秋田藩家蔵文書等の史料を通じて考察し、戦国期の権力編成の姿を浮き彫りにする。

▶A5判・304頁／定価6,090円 ISBN978-4-7842-1569-0

*京都の都市共同体と権力 思文閣史学叢書

仁木宏著

中世京都の都市構造モデルを前提に、その変容のなから町（ちょう）の成立を読み解く。自力救済社会における武家と都市民の対峙が、やがて公儀を創出し、都市共同体を確立させることを明らかにする。中近世移行期における自治、共同体、権力の葛藤を正面から見すえ、都市の本質を具体的に、理論的に分析した一書。

▶A5判・332頁／定価6,615円 ISBN978-4-7842-1518-8

増補・改訂 南北朝期公武関係史の研究

森茂暁著

南北朝期の公家政局の構造、および朝廷と幕府との関係を、豊富な史料をあげて実証的に読み解き、その後の中世政治史の発展を決定づけた、1984年文獻出版刊行の名著を増補・改訂して復刊。増補にあたっては、32頁に及ぶ新補注を付し、旧版刊行後に見いだされた基礎データ等を収録。

▶A5判・612頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1416-7

*東寺・東寺文書の研究

上島有著

第21回角川源流賞受賞

近世文書や聖教類も含めた東寺文書の整理の歴史を、東寺と東寺文書の研究に永年携わってきた著者が、寺史や伝来とも関わらせて集大成。【内容】東寺の歴史／東寺文書の伝来と現状／東寺百合文書の整理と目録作成／東寺文書をめぐって／付：文書編年目録／索引

▶A5判・872頁／定価17,850円 ISBN4-7842-0979-4

*戦国大名の外交と都市・流通

豊後大友氏と東アジア世界

思文閣史学叢書

鹿毛敏夫著

西日本の戦国大名のアジア外交の実態とそこに潜む意識構造について解明するとともに、政治・経済・文化的にアジア諸国と緊密な関係にあった西国大名による都市・流通政策の実態を明らかにする。

▶A5判・300頁／定価5,775円 ISBN4-7842-1286-8

長崎奉行の研究

鈴木康子著

17世紀後期から18世紀中期の約100年間の、長崎奉行の職掌や幕府内における長崎奉行の位置づけの変化、そして長崎奉行自体の特質が変質してゆく状況を解明し、その背景となる幕府の経済政策の推移や、日本側の外国人に対する意識の変化などについても考察を加える。

▶A5判・420頁／定価6,510円 ISBN978-4-7842-1339-9

織豊期主要人物居所集成

藤井讓治編

織豊期を生きた政治の主要人物の移りゆく居所の情報を編年でまとめた研究者・歴史愛好家必携の書！！政権の中心人物、政権中枢の人物、有力大名、有力武将、僧侶・文化人、公家、政権に関わる女性たち、総勢25名を収録。辞書的な利用はもちろん、通覧すれば秀吉の天下統一の道程や戦国武将の動静、同時代人たちの交流を詳細に追える。

▶B5判・476頁／定価7,140円

ISBN978-4-7842-1579-9

東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書。そのうち東寺百合文書は1997年に国宝指定をうけている。本書は、東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

▶A5判・654頁／定価11,550円

ISBN978-4-7842-1578-2

戦国大名武田氏の権力構造

丸島和洋著

戦国大名はどのような伝達ルートを通じて家中の内外との意思疎通を行ったのか？甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討とあわせて、大名権力の中核を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

▶A5判・436頁／定価8,925円

ISBN978-4-7842-1553-9

中世京都の空間構造と礼節体系

桃崎有一郎著

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は？参内するときはどこで牛車を降りればよいのか？中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明らかにし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。【内容】中世中における街路通行者と第宅居住者の礼節的關係／中世における朝儀仕仕と里内裏周辺空間秩序 他

▶A5判・584頁／定価7,560円

ISBN978-4-7842-1502-7

中世日本の政治と文化

思文閣史学叢書

森茂暁著

鎌倉時代から室町時代にかけて、現存している古文書や、政治と深く関わった宗教者から、「中世日本」とはどのような時代だったのかをひもとき、さらに『増鏡』や『太平記』、「博多日記」という記録史料など、文芸作品からのアプローチをも試みる。中世の政治と文化を総合的に明らかにした論考15篇を収録。

▶A5判・480頁／定価9,450円

ISBN4-7842-1324-4

経筒が語る中世の世界

小田富士雄・平尾良光・飯沼賢司編

おもに九州出土の経筒をとりあげ、考古学・歴史学・美術史学に加え、分析科学などの先端機器を駆使した先駆的研究も収録。文系理系を問わず、さまざまな切り口から「経筒が語る中世の世界」をえがく。2007年、別府大学文化財研究所が主催した文化財セミナーの成果をまとめた論集。

▶B5判・236頁／定価5,040円

ISBN978-4-7842-1409-9

近世長崎司法制度の研究

安高啓明著

長崎奉行所で構築されていた司法制度のもとでの、長崎奉行の司法的権限に迫った。また法の浸透過程と受容した長崎奉行所の法体系を見出し、判例集「犯科帳」から当時犯罪に関与した人間模様、裁判の実相を明らかにする。

▶A5判・504頁／定価5,985円

ISBN978-4-7842-1477-8

近世長崎・対外関係史料

太田勝也編

「長崎御役所留」（国立公文書館内閣文庫所蔵）・「長崎諸事情覚書」（同左）・「長崎記」（東北大学附属図書館狩野文庫所蔵）および「長崎旧記」（筑波大学附属図書館所蔵）の4点を収録。「長崎御役所留」は長崎奉行所に受け継がれてきた文書・記録類の編纂物であるが、この種の現存史料としては唯一の第一級史料。

▶A5判・728頁／定価16,800円

ISBN978-4-7842-1362-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。